PROGDENCE
Total Solution Provider

# ID管理システムを古くから導入している広島国際大学が選んだ「iD Flow Orchestrator」とは？

## 年度更新処理のパフォーマンス向上、シンプルなUIで引継ぎもスムーズに

iDFlowOrchestrator Powered by PROGDENCE

## 広島国際大学が統合ID管理システム「iD Flow Orchestrator」の導入に至った経緯

常翔学園 広島国際大学

**学内基盤システムの更改に伴い、ID管理システムのリプレイスニーズが発生**

**こんなニーズが**

- 管理するユーザーや連携するシステムを増やしたい
- 管理画面が複雑で、どのように設定を行えば良いのかわからない
- 大量のユーザー数の登録処理にかかる時間を削減したい

**以下のように解決！**

- 管理するユーザー数や連携するシステム数が増えても、追加契約なしで利用可能
- 直感的に操作できる管理画面で運用業務を効率化
- 操作時のレスポンスや大量処理にかかる時間が以前より早く！

IIJ Internet Initiative Japan

これらを実現したのが、既存ベンダーである株式会社インターネットイニシアティブと、ID管理システムの構築や運用について多数の知見と実績のある株式会社プログデンス。タッグを組んでニーズに答える提案をしました。

PROGDENCE Total Solution Provider

## 統合ID管理システムは、利用するプロビジョニング先に合わせて進化していく

創立100周年を超える学校法人常翔学園傘下の広島国際大学情報センターのICT連携機構では、毎年大量のIDを管理する必要があります。

学生のICT利活用を総合的にフォローし、学生一人ひとりのIDとパスワードを管理し、運用しているICT連携機構は、この度、数年ぶりにID管理システムを入れ替えることになりました。

広島国際大学では、ID管理システム自体は、古くから導入しています。
そんな中、年々、管理するIDが増加するだけでなく、各種サービスやサーバーの種類が増え、運用も複雑化しています。各種プロビジョニング先との連携を鑑みて、ID管理システムを入れ替えることになりました。

ID管理業務を行う担当者たちの多くは、今回導入した『iD Flow Orchestrator』について、そのシンプルな操作性に好印象を抱き、それでいて、現場での利用シーンにおける使いやすさ(ユーザビリティ)を追求した製品となっていることを高く評価しています。

**広島国際大学のご担当者様より**

こういったシステムにおいて、IDを割り振られる学生たちは、自分自身がどのような属性で、どれだけ権限を持ち、いつそれに変更が加えられるかなど、知る由はなく、ログイン時にストレスなく、安定して使用できることが大前提となります。私たちは、学生たちの当たり前を守らなければなりません。

## ID管理業務が取り組みやすいとすら感じる！？

ID管理業務については、どの組織でも「ID管理システムは運用に手間がかかる」「作業量が膨大過ぎる」「システムごとに構築の手間とコストがかかる」などの理由から、敬遠されがちだと云われています。それでいてシステムの増加とともに、ID管理の重要性が高まり、ミスが許されません。
そんな中、旧システムから新システムへ移行する際、現場はナーバスになりがちです。移行作業の遅れなど、トラブル等が発生すると、数千人の学生に影響が出る可能性があります。それゆえに、移行には大きな不安を抱えることがよくあります。
実際、広島国際大学の運用者からは「一から操作を覚え直す必要があるのか」と心配する声もあったそうです。
他にもIDが年々増えていくことへの対応やコスト、当時課題だった操作時のレスポンス、運用者全員が操作を覚えるまでの研修期間なども、移行時の課題として考えておく必要がありました。
ところが実際に、トライアル版のデモ画面に触れてみると、そのわかりやすいダッシュボード画面からも、基本的な操作で迷うことが少なく、「これなら自分たちだけでもなんとかなるのでは？」という声すらあがるほどだったそうです。
結果的に、思ったよりもスムーズに移行できたとのことでした。

## 一元管理できることの強みにプラスα

昨今、どこのシステムもクラウド化する流れが、当たり前でしたが、全てをクラウド化することは大変難しいのではないでしょうか。多くの組織が、オンプレミスを手離そうとしても手離せない、と仰います。だからこそID管理システムが必要になります。
当然ですが、どんなシステムやサービスにも、入り口として、IDとパスワードが必要になります。
例えば広島国際大学では、毎年、少なくとも2,000人分のIDを用意しなければなりません。最近では卒業生たちのIDも残しておき、卒業後に利用できるサービスなども視野に入れているそうです。現状、この大量のIDについて、どのサービスと連携させ、どう管理していくのか、常に創意工夫しています。
さらに、連携すべきプロビジョニング先が増えています。管理項目が追加され、運用に必要な設定変更に柔軟に対応する必要もあります。当然、より迅速に対応できるシステムが求められます。
IDを管理する運用者にとって、一元管理できるというだけでなく、その使用感やレスポンス、セキュリティ面、サポート体制なども充実していなければならないのです。

## シンプルな操作画面と優れたレスポンス

『iD Flow Orchestrator』は非常に多機能ですが、主要な機能は一画面で済むように設計されています。「シンプルでありつつ、そのユーザーインターフェースはとても練り込まれている」とすでに多くのユーザーが実感しています。
また、数千行を超える膨大な設定値をもとに、大量のデータを扱うのが常のID管理システムにおいて、その処理の速さ、レスポンスは、従来のシステムとは違い、目を見張る速さがあるとのことです。
『iD Flow Orchestrator』はID管理システムの導入実績が多くあるプログデンスが、使用感にこだわって、ユーザー目線で丁寧に開発したシステムです。

いくつかのこだわりが、今回の完成度につながっていると思います。私たちのような、IDを管理し、安定して守り続けていくことが使命である者たちからすると、非常に安心できます。（広島国際大学のご担当者様より）

よく使う基本機能は一つの画面に集約されており、シンプルでわかりやすくなっています。

IDの流れをWeb画面上でわかりやすく表現しています。

## ID管理システムの案件実績があるから作れる、とことんユーザー目線のシステム

学校法人であれば、最低でも毎年数千人レベルでIDが増えていきます。だいたいどの学校法人でも、チーム体制で管理業務を行なっていますが、チーム全員が同じレベルでID管理のさまざまな課題に取り組めるようにツールと向き合えるかどうかは、そのシステムが、使用者にとって、どのくらい扱いやすいか、重要なカギとなってきます。
すでに導入済みの担当者様が言います。「これなら運用中の設定変更や新しいシステムと連携するための設定も、サポートがあれば自分たちでできそうですね」と…。
開発した株式会社プログデンスは、数多くのネットワークやクラウドに関する設計、構築、運用を担い、セキュリティソリューションを含めた国内主要IT基盤を支えてきたシステムインテグレーターです。
そんな彼らが、ID管理システムの構築や運用に数多く取り組んで得た実績を元に「こうなっていたら使いやすいのでは？」「ここはシンプルな方が良い」「ここでいちいち手間をかけられない」など、これまでのナレッジから、だったらいいな、をできるだけ詰め込み、製品に落とし込んだそうです。
加えて、ユーザー増加による追加費用や新システム連携による追加費用が一切ないことも理想的と言えるのではないでしょうか。

## 『iD Flow Orchestrator』導入にあたって

IIJ
Internet Initiative Japan

昨今のクラウドシフトの加速化に伴い、これまで以上にID管理の重要性が増してきております。そのような状況下では、導入コストやシステムの安定性はもちろんのこと、ユーザビリティを追求した扱いやすいシステムが求められます。『iD Flow Orchestrator』は、そのようなニーズの"痒い所に手が届く"ような製品と認識しており、今後の製品として更なるアップデートにも期待しております。
（ベンダー：株式会社インターネットイニシアティブご担当者様）

PROGDENCE
Total Solution Provider

これからも、今までの知見を活かし、お客様の声を反映した、ユーザーライクな製品として成長していきたいと思います。
「『iD Flow Orchestrator』を知ったことで、ID管理業務が容易になった」などのお声をいただければ幸いです。
『IDに関する管理フローを指揮し導いていくツール』という名の通りの製品として、ID管理に携わる方ならどなたにも安心してお使いいただきたいと考えております。（メーカー：株式会社プログデンス開発チーム一同）

『iD Flow Orchestrator』の詳細は、https://www.progdence.co.jp/service/idf/ にてご確認いただけます。

※本情報の内容（リンク先などを含む）は、作成日（2025年1月）時点でのものであり、予告なく変更される場合があります。